緊急連絡網報告書

■緊急連絡網立上げの経緯■

近年の子どもを取り巻く情勢の変化に対応して、PTA 自身が子どもが安心して生活できる環境を作ることに何か協力できることはないか？枚方市 PTA 協議会としてその疑問に応える一つの取り組みとして始まった。

■目的■

行政、地域、校区を越えた情報を双方向に流すことによって、各単位 PTA の自主的な子どもの安全確保の取り組みに利用していただくこと。

■経過■

平成 15 年 4 月からの実行委員会、生活指導委員会のみの試用期間を経て、9 月から、各単位 PTA で市 P サービスの一環として登録開始。

１０月情報担当者当て、ガイダンス開催。生指役員会、ホームページ運営委員会、市Ｐ実行委員会とともに運営に協力することを議決。

平成１６年５月ホームページ運営委員会が総務委員会に移行。それに伴い当該委員の緊急連絡網の運営部分を総務委員会に移管する。

■抽出アンケート（小学校１０校）によるまとめと課題■

〇緊急連絡網を利用した　９校

利用法　生活指導委員会内で報告　９校

学校に連絡　８校

立ち当番、パトロールした　３校

〇学校、地域、PTA との連携に変化があったか？

連携が増えた　９校　　変化なし　１校

内容＊校立ち当番、パトロールの依頼、地域への回覧、学校からの情報提供、マニュアルの作成、不審者発生時の避難訓練と校区内の連絡訓練、１１０番の家見直し、自転車札の作成と配布など

〇課題（列挙）受け取り後どうするか、マニュアル作成の必要を感じた。

学校が集団下校していたので、パトロールをするかどうか伺ったら、それから連絡なく校内指導と、次の日お手紙があった。

緊急時臨時会議を開いていたら間に合わないので、マニュアルの作成の必要を感じた。

連絡が流れたら、その都度、学校へ連絡しなくてはならない為、学校へ直接連絡を入れるように検討していただきたい。（平成１６年１月８日教育委員会メール配信を各学校に開始。）

PTA 会員の中で、連絡を受け取りたい人についてどうするか？学校に掲示するなど考えている。

〇連携における課題

１１０番の家の意味を子どもが知らなかったので、家庭や学校でも教える必要を感じた。

交代する役員で維持するために、知恵を絞りたいと思う。

役員の負担感と、子どもや地域への貢献感のバランスをうまく取って運営する必要がある。

地域の方々にも協力していただき、登下校時近隣に目を向けていただけるように協力を要請していく必要がある。

実際に緊急時にどのような情報を受け取り、どのくらい迅速に動けるか訓練していきたい。